

事務事業 No./名 称	■サービス部門 □支 援 部 門 都整-21 雨水施設維持管理事業										
主管課	下水道河川課				関連課		総合防災課				
分野名	下水道・河川										
目標 (目標値)	大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守る。										
人口等のデータ	データ区分	25年度		24年度		23年度		備 考			
	人 口	177,895人		177,224人		177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	80,295世帯		79,669世帯		79,217世帯					
	事業の対象者数										
運営資源状況	決算値(千円)	814		849		1,139					
	(国・県)										
	(負担金等)										
	(一般財源)	814		849		1,139					
	人員配置数	0.1人		0.1人		0.1人					
	人 件 費(千円)	787		805		850					
	協働のパートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	1,601		1,654		1,989					
	市民1人当りの経費(円)	9		9		11					
	対象者1人当りの経費(円)										
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒										
指 標	評価	年度	22年度		23年度		24年度		25年度		最終年度(27年度)
ゲート類点検・雨水調整池点検等	△	目標値	58箇所 7箇所		58箇所 7箇所		58箇所 7箇所		58箇所 7箇所		58箇所 7箇所
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	58箇所 7箇所		58箇所 3箇所		58箇所 0箇所		58箇所 0箇所		

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
雨水施設維持管理事業	814	雨水施設維持管理事業	4,348	今後の 方向性	A	理由 ・手法	大雨や台風による洪水や溢水から市民の生命と財産を守るため、長寿命化計画を策定しながら、雨水施設の維持管理を行う。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	老朽化した雨水調整池の維持・管理を行うには、多大な費用を要するが、厳しい財政状況から十分な維持管理ができないため、近年の都市型浸水や大雨等の被害を防止できなくなるおそれがある。													
課題解決のための取組	雨水調整池維持管理業務の軽微な外構補修等は、作業センターの協力を得て行っている。							取組の結果	□解 決 ■未解決					
未解決の課題	当面は応急的に対処しているが、根本的な修繕が必要である。													
中事業の評価	適切＝○要改善＝△(2面「評価の視点」を参照)				➡		①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	「インフラマネジメント計画」においてインフラストックの把握を行い、「予防保全型」管理を基本とする長寿命化計画を策定し、国の補助金を確保しながら、計画的に事業を推進していく。										A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止		➡	A
											※□事業完了			
評価者名				下水道河川課担当課長				甘粕 潔						

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の 視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
雨水施設維持管理事業	雨水施設管理施設突発的維持修繕、備品修繕、フラップゲート点検委託				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		1146	消耗品費	158	157	○	○	○	○
		1146	印刷製本費	30	17	○	○	○	○
		1146	雨水調整池管理施設等突発的維持修繕料	380	0	○	○	○	○
		1146	備品修繕料	100	52	○	○	○	○
1146	フラップゲート点検委託料	900	588	○	○	○	○		
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									
小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□ 事業完了									